

環境保全とコツコツと 資源回収

笠松町婦人会

笠松町婦人会では、平成元年から生活排水対策として「ブルーリバー作戦」と名付け川を美しくする運動に呼応して、廃油回収を実施しています。

家庭で不用になったてんぷら油を回収し、石鹼を作り洗濯に使用したりして、家庭からの排水による側溝や河川などの水質悪化の防止に努めてきました。

さらに資源の有効活用のため皆さんから提供された段ボール・古新聞・アルミ缶などのコツコツと回収してきました。

平成14年3月には、その収益金335万円を町民バス購入の資金として町に寄付されました。

これからも町婦人会は、環境にやさしいことや限りある資



分別されたダンボール・古新聞を回収車に積み込む婦人会員
源のリサイクル活動を積極的に推進していきますので、皆さんのご協力をお願いします。

カメラの眼

まちの出来事



ギターで弾き語る桑山さん

地球のステージ2

笠松町文化協会

笠松町文化協会主催による「地球のステージ2」が10月19日、中央公民館で行われました。

昨年は悲惨な被災地や紛争地でも、明るく生きる子どもたちを紹介した地球ステージ1で、多くの方に感動を与えました。

今回は、多くの要望に応えパート2を開催。

岐阜県高山市出身の医師で緊急医療支援活動をしている桑山紀彦さんが、カンボジア・イラン・パレスチナ自治区など貧困や紛争に巻き込まれ傷ついた人々や夢を持っている子どもたちの姿を撮影した映像と自作の歌や語りのステージで、明るい曲では、思わず聴衆は手拍子を打ち会場が一体になる場面もありました。

桑山さんは、観衆に世界には日本のように安全で清潔な国ばかりでないとのメッセージを伝えました。

笠松をおもてなしのところでご案内

笠松湊と町屋の歴史見学のボランティア

木曾川学研究協議会主催による、笠松の町屋・史跡・文化財を探訪する見学会が、10月21日行われました。

笠松を語り継ぐ会の5人がガイドを務めました。参加者の多くは各務原市から来られ全部で35人。3グループに分けておもてなしのところで案内されました。

キリシタン灯籠(笠松小学校)を手始めに鮎鮎街道笠松問屋跡(下新町)、美濃郡代笠松陣屋・笠松県庁跡(県町)、芭蕉のむくげ塚(蓮国寺)、笠松湊の石畳(港町)、杉山邸(下本町)の順で巡回。

町歴史民俗資料館では、職員から町の成り立ちの説明を受けました。参加者は鮎鮎街道問屋跡の高嶋家では、



見学会で参加者に笠松陣屋の説明をするボランティア(中央)

久右衛門さんと対話。最後の杉山邸では、プロジェクターの映像を観ながら鮎鮎の説明を熱心に聞き入っていました。